

笑顔届けたい

学校長 梅田 比奈子

「地域の人にも笑顔届けようプロジェクト」のスタートとして、ガンバリーダー(運営委員会)を中心に医療関係者の皆さんに応援と感謝の気持ちを送りたいという事になりました。そこで、全校児童が気持ちをこめて、鶴とお花を折り、それをガンバリーダーの皆さんがきれいな飾りに仕上げました。そして、その飾りにメッセージカードを添え、横浜南共済病院に届けました。

横浜南共済病院では、院長先生をはじめ最前線でお仕事をされている看護師さん等、多くの方が出迎えて下さいました。ガンバリーダーの一人ひとりが、思いを伝えながら手渡し、その場が笑顔でいっぱいになったひととき。院長先生からは、瀬小の子どもたちの思いがとてもうれしいということや患者さんの笑顔を見られることが自分たちの喜びだというお話をいただきました。



「誰かのために、何かをしたい。」「周りの人々に喜んでほしい。」「みんなが笑顔になるには、どうしたらいいか。」子どもたちは、今までの経験の中で、たくさん考えています。そんな姿がとてもうれしいと思います。

11月26日には、朝の挨拶に本校卒業生の六中生が来てくれました。これは、10月16日に行われた横浜子ども会議(六中ブロック)で、『だれにとっても』居心地のよい学校づくり」というテーマのもと、代表の子どもたちが話し合う中で、生み出された活動です。みんなに挨拶をしてもらい、笑顔で一日をスタートできるように、中学生のみなさんも一緒にやろうと前向きに考えてくれました。朝、登校してきた子どもたちは、ちょっとびっくり。でも、とてもうれしそうでした。



12月の4日から10日は、人権週間です。本校では、人権週間に合わせて、「されて嬉しい気持ちになることを集めよう」「嬉しい気持ちを友達につなごう」という活動を行います。この活動をしている子どもたちの事を想像すると、浮かんでくるのはやはり笑顔。子どもたちが考えた活動から、笑顔の輪が広がっていくように思います。「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指すために、一人ひとりが笑顔になり、周りの人も笑顔になってほしいと願う・・・そんな子どもたちが素敵です。

12月2日～4日は、ふれあいフェスティバルです。今年のテーマは、「みんなの笑顔で 瀬小を元気にしよう GO TO ふれフェス～みんなが主役！ 一人ひとり 自分らしく かがやこう！～」です。コロナ感染拡大防止のため、例年とは違った形になりますが、一生懸命な子どもたちを応援していただけたらと思います。